

令和元年度 第 11 回 政策調整会議 会議録①

◆開催日時:令和2年3月3日(火) 13:00~13:30

◆開催場所:第1委員会室

◆出席委員:小山副市長、土佐副市長、樋口教育長、残総合政策部長、寒川総務部長、坂井財務部長

◆審議事項

・岸和田市市制施行 100 周年記念事業基本方針(案)の策定について……………企画課⇒承認

◆審議概要

『岸和田市市制施行 100 周年記念事業基本方針(案)の策定について』

〈説 明 者〉上東企画課長、蓮井担当主幹、羽室担当員

◎付議依頼書に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈財 務 部 長〉実行委員会について、各種団体の代表者を構成メンバーとすると、かなりの数になると思われるが、どのように選抜するのか。

〈蓮井担当主幹〉事務局から分野別で候補となる団体を挙げ、各課に照会し、それに対する回答を得たところである。各課からの回答では 27 の団体が挙がっており、今後事務局で調整を行い、30 前後となる見込み。

〈財 務 部 長〉市から負担金等として実行委員会に支出することになっているが、実行委員会で主催する事業は、どういったものを想定しているか。

〈蓮井担当主幹〉何らかのプレ事業と記念事業として講演会等の実施を考えている。

〈財 務 部 長〉各団体が実施する事業に対し、一部費用を負担するといったことではないのか。

〈蓮井担当主幹〉それは協賛事業となる。公募により選定された団体が実施する事業に対し、実行委員会から協賛金という形で提供することを想定している。対象となる団体数や支援の規模については今後協議・検討を行う。

〈企 画 課 長〉50 周年から概ね 10 年ごとに記念事業を行ってきたが、これまでは全て行政主導。実行委員会方式は今回が初めてとなるが、大きな節目にあたる 100 周年で、一度こういった方法で行いたい。実行委員会の構成団体については、分野ごとに、市内全域を活動対象としているような団体を主にピックアップしている。

〈土佐副市長〉実行委員会のトップは誰が務めるのか。

〈蓮井担当主幹〉市長を考えている。

〈土佐副市長〉実行委員会もトップが市長ということになると、市の主催事業と変わらないのではないか。

〈企 画 課 長〉実行委員会の構成メンバーには、主催者・当事者のひとりであるという意識を持ってもらいたいという狙いがある。他団体の実行委員会の方式を見ると、産業界の方が委員長になってい

る事例もあるが、スムーズに運営できるよう、トップには市長を考えている。

〈小山副市長〉協賛事業へはどの程度の補助をイメージしているのか。

〈蓮井担当主幹〉他市の周年事業を調査したところ、規模は様々である。また、補助団体数についても幅広いので、庁内で調整しながら決めていきたい。

〈土佐副市長〉ロゴマークの予算は。

〈蓮井担当主幹〉来年度の予算については、これから議会に諮ることだが、ロゴマーク及びキャッチフレーズは、最優秀賞が各1点、その副賞として、賞金5万円を予定している。優秀賞は各部門2点ずつで、ふるさと寄附事業協力事業者などからの協力を得て賞品を出すことを考えている。また、ロゴ、キャッチフレーズを活用した懸垂幕やバックボードの作成を予定している。

〈土佐副市長〉ロゴマークについては、デザインを勉強している学生など、賞金額ではなく、名誉の部分で応募してほしいという思いがあるということか。

〈蓮井担当主幹〉そうである。また、市民だけでなく、全国から応募してもらおう。

〈小山副市長〉最優秀賞等はどのように決定するのか。

〈蓮井担当主幹〉庁内に選考委員会を設置し、見識のある方に外部からアドバイス等をいただきながら、まず5点程度ずつ選んだ後、一般投票を予定している。広報・周知活動の一環として実施することから、公募の段階で一旦周知を図っているが、この一般投票の段階で、さらにたくさんの方に参加いただきながら周知を図ることとする。最終的に、その結果を踏まえ、選考委員会で決定することとしている。

〈小山副市長〉得票数の多いものに決定するのではなく、最終決定は選考委員会で行うということか。

〈蓮井担当主幹〉例えば、得票数が同数ということも考えられるため、最終判断はその結果を踏まえて選考委員会で決定することとしている。

〈企画課長〉予算案が議決されれば、来月には募集を開始できるよう、現在チラシの作成等準備を進めている。ロゴマーク等の決定方法として、著名な方に依頼することも考えられるが、あくまで周知・PRに重きを置き、一般投票を行いたい。

〈土佐副市長〉一般投票は市民に限定するのか。

〈蓮井担当主幹〉インターネットからも投票可能とする予定。岸和田市に興味を持っていただく方、関係を持っていただく方が少しでも増えることを期待している。

〈小山副市長〉選考にあたっては、組織票への対応も検討しておくように。令和4年11月1日に100周年を迎えるということで、その年の1～3月をプレ事業期間とし、100周年記念事業期間は、4月からの1年間、年度で区切るということによいか。

〈蓮井担当主幹〉そうである。

〈土佐副市長〉市主催事業や実行委員会事業等で、目玉となる事業をつくり、大きなブレが生じないよう、市長とも相談し柱となる事業を決定していくように。

〈企画課長〉様々な構想はあるが、財政状況も勘案しながら実行委員会の意見等を取り入れつつ、金銭的なボリューム感を探していきたい。

〈土佐副市長〉話題作りとして、よい仕掛けができるように。

〈総務部長〉今回、実行委員会と市の内部組織として推進本部を設置することだが、「従来から市が主催又は共催して行っているものや、市民団体や地域、企業等が実施し、(中略)冠を付して実施するもの」である冠事業について、実行委員会と推進本部の役割分担について確認したい。実行委員会の役割として「協賛事業及び冠事業の承認に関すること」とある一方、推進本部の役割として、「市が主体となって行う記念事業(冠事業を含む)の認定に関すること」とあ

る。市の主催する冠事業の扱い等について、それぞれの役割分担や守備範囲の整理が必要ではないか。

〈企画課長〉単純に、市が実施する冠事業は市が認定し、その他民間団体が実施する冠事業は実行委員会が承認するという整理をしていたが、相互の情報共有も必要であるため、連携体制など改めて整理・検討する。

〈教 育 長〉概要版には、「R2年度事業(予定)」が記載されているが、実行委員会の設立予定時期など、方針本編の項目7に記載してはどうか。

〈企画課長〉実行委員会については、できる限り早く設置したいと考えているが、早くても6月になる見込み。現在庁内で検討している段階であり、構成団体も確定していないため明記していなかったが、項目7のスケジュールの表内の、令和2年度の中ほどに月は明記せず、記入するようにする。

〈小山副市長〉本案件について、一部修正の上、政策決定会議に諮ることとしてよいか。

【異議なし】

⇒本件、一部修正の上承認し、政策決定会議に付議する。

令和 2 年 2 月 21 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 総合政策部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	岸和田市市制施行 100 周年記念事業基本方針（案）の策定について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、 簡潔に記載すること。)	本方針（案）は、令和 4 年 11 月 1 日に市制施行 100 周年を迎えるにあたり、周年記念事業を進めるために、基本理念、実施期間や推進体制、事業構成等大きな方針を示したものです。 今後、記念事業を検討、実施するための根幹となる方針であるため、政策調整会議・決定会議に付議するものです。
説明者	企画課 課長 上東
	担当主幹 蓮井
	担当員 羽室
付議事項の概要	様式別紙に記載

付議会議	令和元年度 第11月回会議
付議事項	岸和田市市制施行100周年記念事業基本方針(案)の策定について

★取組の目的

対象	市民
どのような状態を目指す	市民と一体となったまちづくりを目指すため、市制施行100周年記念事業を推進する。

★総合計画上の位置付け

201020102	基本目標	Ⅱ－1 市民と議会、行政がそれぞれの役割を果たす
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(2)三者が、互いの立場を理解しながら問題解決に取り組んでいる
	目指す成果	①お互いが、ともに学び育ちあう関係が築かれている
	行政の役割	イ 市としての一体感を醸成する

★現状と課題

(現状)
令和4年11月1日に市制施行100周年を迎える。現在は、企画課内で来年度以降の本格的な事業推進に向け、市としての周年事業の方向性等の検討を行っている。

(課題) 記念すべき100周年をオール岸和田で祝い記念事業を実施する必要があるが、財政状況が厳しい中、一過性のイベントを実施するのではなく、より効果的・効率的で持続可能なまちづくりに寄与するような事業の検討が必要。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		H29年度	H30年度	H31(R1)年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
市制施行100周年記念事業基本方針(案)策定				0					
市制施行100周年記念事業の広報及び事業の検討					234				
市制施行100周年記念事業の検討及び実施									
市制施行100周年記念事業の実施									
市制施行100周年記念事業報告書の作成									
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源								
	その他								
事業費		計			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		234			234	0	0	0	0

ng

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
有	無	0	1	0	0	0

★取組の効果を表す指標

						目標値				
	指標名	単位	H29年度	H30年度	H31(R1)年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①										
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。